

1 はじめに

本校では第3学年以上の児童で話し合い、学校スローガンを決めている。今年度は「当たり前を大切に 笑顔で楽しい学校生活を！」に決定し、この学校スローンのもと、児童主体の特別活動に取り組んでいる。楽しい行事になるようにと運営委員会で企画・運営を行った創立記念集会と校内年賀状について、以下に紹介する。

2 資料（実践事例、写真等）

（1）創立記念集会

ア 掲示物



各クラス1枚ずつの計18枚によるモザイクアートを作成した。昨年度は全児童がメッセージを書いたものをつなぎ合わせたが、時間がかかったり枚数が足りなくなったりと、課題点が多かったため、運営委員会で、簡単にみんなが参加できるものを考え改善した。つなぎ合わせるまで全体の絵が何であるか分からないという期待感が生まれ、各学級で楽しんでいる様子が見られた。短期間ではあったものの、素敵な作品ができあがった。

イ 抽選会

「全校児童が参加でき、楽しめるもの」と企画し、外れなしの抽選会を企画した。くじには1等から3等までの記載と、大沼小に関するクイズが書かれており、景品は大沼小キャラクターのビオクーサとタネテーブルZのイラストが描かれているシールとしおりを作成した。

（2）校内年賀状

ア ラッキーナンバー・景品



1人2枚ずつ友達に年賀状を年末に書いた。1枚は隣の席の友達に書き、もう1枚は他の友達に書くことで、全員に年賀状が行き渡るようにした。年明けにラッキーナンバーの抽選発表を行った。4つの委員会に景品の協力を依頼し、放送委員会からは「給食の時間に好きな曲を流せる券」、スポーツ委員会からは「体育館貸し切り券」、図書委員会からは「本のしおり」や「もう1冊借りられる券」、運営委員会からは「学校キャラクターのビオクーサと写真撮影券」を用意した。当選発表では、配られたはがきに書いてあるラッキーナンバーが当たるかどうか一生懸命に確認し、当選した児童が喜ぶ様子も見られた。

3 成果と課題

「みんなが楽しめるもの」になるように昨年度のものを基に改善して取り組ませたため、積極的に活動する様子が見られた。また、児童生徒交流会での内容を参考にする児童もいたため、今年度は話し合いが活発なものになった。運営委員会が主催する行事は毎年楽しみにしている児童も多いので、マンネリ化してしまわないように、少しずつ改良し、次年度につなげていくことが課題である。